



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月5日

上場会社名 AZ-COM丸和ホールディングス株式会社
コード番号 9090 URL <https://www.az-com-maruwa-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和佐見 勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 葛野 正直 TEL 048(991)1000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	157,644	5.0	8,944	△22.7	9,402	△22.1	5,958	△19.9
2024年3月期第3四半期	150,128	12.6	11,573	33.7	12,066	32.9	7,436	18.5

(注) 包括利益2025年3月期第3四半期 6,251百万円 (△25.6%) 2024年3月期第3四半期 8,405百万円 (4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	44.21	41.09
2024年3月期第3四半期	58.74	54.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	138,598	59,252	40.9
2024年3月期	134,594	57,542	41.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 56,653百万円 2024年3月期 55,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2025年3月期	—	16.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	207,000	4.3	11,200	△19.1	11,700	△19.3	7,700	△15.6	57.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	137,984,520株	2024年3月期	137,984,520株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	3,321,500株	2024年3月期	3,094,958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	134,769,230株	2024年3月期3Q	126,593,991株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型ESOPの信託財産として保有する当社株式572,551株を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算発表後、速やかに当社ホームページへ掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、個人消費も上向くなど緩やかな回復基調となりました。一方で、世界的な政治・経済情勢の不安や為替相場の変動、相次ぐ物価上昇の影響など、先行きは依然として不透明な状況となっております。

物流業界におきましては、消費貨物は回復基調にあるものの、燃料単価をはじめとする各種コストの上昇、物流の働き方改革（2024年問題）を背景とする労働力や輸送力の確保に伴う適正な運賃への価格転嫁を進めているものの、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと当社グループは、コアとなるEC物流、低温食品物流、医薬・医療物流の各ドメインにおける業容拡大と、深刻化する人材及び稼働車両不足の状況下における事業拡大に資する人材の確保・育成、DX化の推進と適用による省人化・省力化、生産性向上に努めております。また、更なる事業拡大のため、経営資源を適正に配分し、成長事業への集中投資と低収益事業の再生・再編による経営の効率化を図るとともに、ESG経営にも積極的に取り組み、経済価値を最大化すると同時に社会的価値の創出を目指してまいります。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高157,644百万円（前年同四半期比5.0%増）となりましたが、後述するセグメント別の業績情報に加え、株式公開買付関連費用が影響し、営業利益8,944百万円（同22.7%減）、経常利益9,402百万円（同22.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,958百万円（同19.9%減）の増収減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① 物流事業

<輸配送事業>

(ラストワンマイル事業)

ラストワンマイル事業においては、大型セールに応じた増車手配をはじめ、各取引先における年末需要への対応が業績に寄与した結果、売上高は30,184百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。

(EC常温輸配送事業)

EC常温輸配送事業においては、新たな輸配送案件の獲得や料金改定が一部進捗したものの、大型拠点の閉鎖に伴う輸送数の減少が影響した結果、売上高は40,866百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

<3PL事業>

(EC常温3PL事業)

EC常温3PL事業においては、大型物流センターが順次開設したことに加え、新たな取引先の獲得や大型セールに伴う年末物量増への対応が業績に寄与した結果、売上高は47,949百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

(低温食品3PL事業)

低温食品3PL事業においては、新たなスーパーマーケットの物流センターが稼働したことに加え、各取引先における年末物量の増加が寄与した結果、売上高は18,262百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

(医薬・医療3PL事業)

医薬・医療3PL事業においては、主要取引先であるドラッグストアの業容拡大に対応する新規物流センターの本格稼働に加え、各センターにおける出荷物量増加への対応が業績に寄与した結果、売上高は18,279百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

以上の結果、物流事業における売上高は155,542百万円（前年同四半期比4.9%増）の増収となりました。

利益面では、引き続き積極的な営業開発による物流センターの拠点数や稼働車両台数の増加に加え、繁忙期となった年末の物量増加への対応や、適正な運賃への価格転嫁の取り組みの進捗が寄与いたしました。一方で、拠点見直しに伴う輸送数の大幅な減少、各種コストの上昇や業務安定化を目的とした一時費用が影響した結果、物流事業におけるセグメント利益（営業利益）は9,285百万円（前年同四半期比19.5%減）の減益となりました。

② その他

ファイブホールディングス㈱における情報システム事業及び㈱アズコムデータセキュリティのBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）に係る新規案件開発の受注が順調に推移した結果、売上高は2,102百万円（前年同四半期比9.8%増）、セグメント利益（営業利益）は294百万円（同3.3%増）の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は138,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,003百万円増加いたしました。流動資産は68,311百万円となり、4,187百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が2,966百万円増加した一方で、有価証券が5,000百万円、法人税及び消費税の還付によりその他が2,168百万円、それぞれ減少したことであります。また、固定資産は70,286百万円となり、8,190百万円増加いたしました。この主な要因は、建物及び構築物(純額)が1,264百万円、機械装置及び運搬具(純額)が1,673百万円、工具、器具及び備品や建設仮勘定の増加により有形固定資産のその他(純額)が4,026百万円、それぞれ増加したことであります。

負債につきましては79,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,292百万円増加いたしました。流動負債は52,020百万円となり、19,404百万円増加いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が2,040百万円、償還日まで1年未満となった転換社債を固定負債から振替えたことにより1年内償還予定の転換社債が20,201百万円、それぞれ増加した一方で、未払法人税等が2,533百万円減少したことであります。また、固定負債は27,325百万円となり、17,111百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金が2,540百万円増加した一方で、転換社債が20,366百万円減少したことであります。

純資産につきましては、59,252百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,710百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が1,765百万円増加したことであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月5日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,156	41,177
受取手形及び売掛金	22,242	25,209
貯蔵品	89	85
有価証券	5,000	—
その他	4,011	1,843
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	72,498	68,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,593	11,858
機械装置及び運搬具（純額）	2,173	3,846
土地	15,020	15,020
その他（純額）	6,173	10,200
有形固定資産合計	33,960	40,925
無形固定資産		
のれん	3,399	4,338
その他	6,842	6,701
無形固定資産合計	10,241	11,040
投資その他の資産		
投資有価証券	11,318	10,795
その他	6,590	7,581
貸倒引当金	△14	△55
投資その他の資産合計	17,893	18,321
固定資産合計	62,096	70,286
資産合計	134,594	138,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,669	14,710
短期借入金	15	35
1年内償還予定の転換社債	—	20,201
1年内返済予定の長期借入金	5,069	5,144
未払法人税等	3,635	1,102
賞与引当金	897	247
その他	10,328	10,578
流動負債合計	32,615	52,020
固定負債		
社債	35	25
転換社債	20,366	—
長期借入金	15,237	17,778
退職給付に係る負債	1,156	1,182
資産除去債務	844	1,383
役員株式給付引当金	49	47
従業員株式給付引当金	67	173
役員退職慰労引当金	62	68
その他	6,616	6,666
固定負債合計	44,436	27,325
負債合計	77,052	79,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,117	9,117
資本剰余金	8,800	8,800
利益剰余金	39,525	41,290
自己株式	△5,755	△5,989
株主資本合計	51,688	53,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,587	3,562
退職給付に係る調整累計額	△158	△128
その他の包括利益累計額合計	3,428	3,433
非支配株主持分	2,425	2,599
純資産合計	57,542	59,252
負債純資産合計	134,594	138,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	150,128	157,644
売上原価	131,501	140,817
売上総利益	18,626	16,827
販売費及び一般管理費	7,053	7,882
営業利益	11,573	8,944
営業外収益		
受取利息	166	168
受取配当金	197	236
固定資産売却益	42	38
受取和解金	100	—
その他	276	154
営業外収益合計	783	598
営業外費用		
支払利息	53	89
シンジケートローン手数料	204	7
その他	32	43
営業外費用合計	290	140
経常利益	12,066	9,402
特別利益		
固定資産売却益	58	—
投資有価証券売却益	—	314
特別利益合計	58	314
特別損失		
出資金評価損	—	15
固定資産売却損	6	—
特別損失合計	6	15
税金等調整前四半期純利益	12,117	9,701
法人税等	4,387	3,455
四半期純利益	7,729	6,245
非支配株主に帰属する四半期純利益	293	287
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,436	5,958

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	7,729	6,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	644	△24
退職給付に係る調整額	31	30
その他の包括利益合計	675	5
四半期包括利益	8,405	6,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,112	5,963
非支配株主に係る四半期包括利益	293	287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2024年8月5日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において、2016年度より導入している、当社及び当社子会社の従業員を対象とした「株式給付型ESOP信託」における本信託への追加拠出を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において240,000株の取得により、自己株式が239百万円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,899百万円	2,163百万円
のれん償却額	291百万円	316百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	物流事業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	148,214	1,913	150,128	—	150,128
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	33	305	339	△339	—
計	148,247	2,219	150,467	△339	150,128
セグメント利益	11,540	285	11,825	△252	11,573

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業、不動産賃貸事業及び情報システム事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメントに帰属しない持株会社に係る損益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	物流事業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	155,542	2,102	157,644	—	157,644
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	318	356	△356	—
計	155,580	2,420	158,000	△356	157,644
セグメント利益	9,285	294	9,579	△634	8,944

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業、不動産賃貸事業及び情報システム事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメントに帰属しない持株会社に係る損益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、㈱ルーフィの株式を取得し完全子会社化したことにより、「物流事業」セグメントにおいて、のれんの金額が1,256百万円増加しております。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。